

電子帳票と文書管理システム セミナー（第6回）

主催：商品事業部 1999年7月8日（東京）

東京・有楽町の東京国際ファラムで標題のセミナーを開催した。電子帳票関連では、法定帳簿の電子化に関する最新の動向と、実際の電子帳票システムの導入について、また文書管理関連では、イントラネットやグループウェアと連動させた文書管理システムの構築について、NRI野村総合研究所の製品（PowerBinder、ILF）の紹介と併せて、それぞれ先進企業における実例を紹介した。

1997年から開催している本セミナーには、毎回多くの企業ユーザーの方々から参加希望が寄せられており、6回目となった今回も約200人が参加された。セミナーは以下の4セッションで行われた。

グループウェア / ウェブ対応文書管理ソフト
PowerBinder

オフィス内の紙に加えて、パソコンのデスクトップ上のワープロ文書や表計算シートなど、あらゆる種類の情報のファイリングとネットワーク上での利用を可能にする文書管理ソフト「PowerBinder（パワーバインダー）」の最新バージョンの機能と、いくつかのシステム開発事例を紹介した。

グループウェア上での文書管理システム構築
グループウェアを利用した情報共有やコラボレーション（協働）が盛んになっているが、それに伴い

外部からくる紙情報や、旧来の資料などをグループウェア上で自由に利用し、管理するための手段が必要となっている。そこで、グループウェアと紙を主体とした情報の連携を実際にどのように実現するかを、契約書管理システムの構築を例に説明した。

電紙革命——電紙化が企業にもたらす価値

電子帳票に関する最新の動向と併せ、電子帳票によって、ペーパーレス化を含め、コスト削減、業務効率化の観点で、どのような業務がどう改善されたかを、いくつかの企業での導入事例に基づいて解説した。

国税関係帳簿書類の電子化を終えて

制度改正により法定帳簿、書類の電子保存＝電子帳票が認められてから約1年が経過した。本セッションでは、実際に帳票電子化を行った企業の事例をもとに、システム上の注意点、電子化申請の留意点などについて解説した。

本セミナーについてのお問い合わせは下記へ

商品事業部 工藤真一

電話（03）5203 - 2707

電子メール s-kudou@nri.co.jp

製品・サービス紹介のホームページ

<http://www.nri.co.jp/products>